

日田川・まちみらいづくり懇談会

～ 第1回～

平成18年1月11日

日田川・まちみらいづくり懇談会の目的

治水の
課題

環境の
課題

まちづくりの
課題

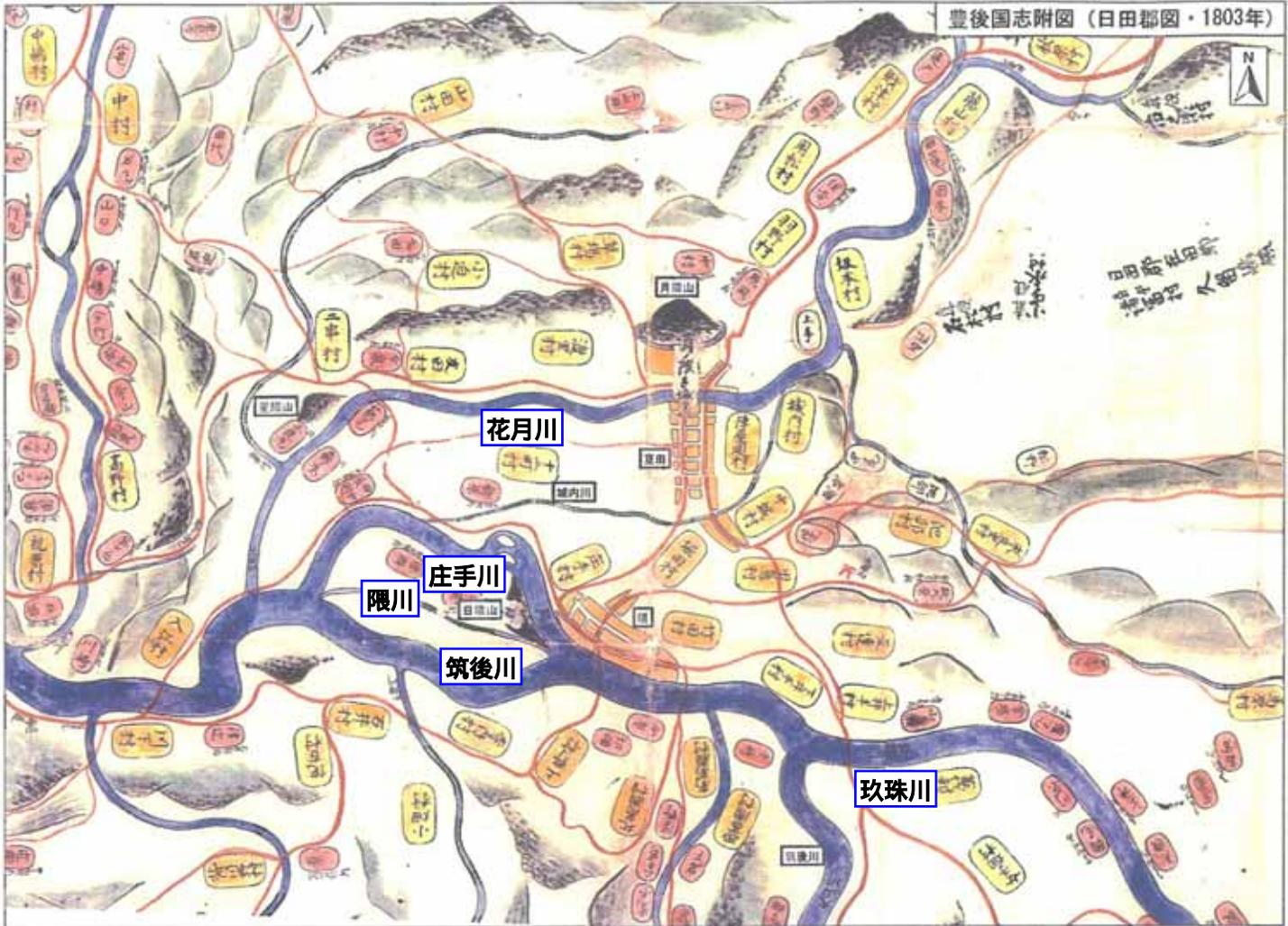
川づくりとまちづくりが一体となった
『日田川・まちみらいづくり』

具体的なプログラムとして
懇談会では

現在の川の課題や要望を踏まえ、
未来へとつなげていく

『日田川・まちづくりプラン』の作成

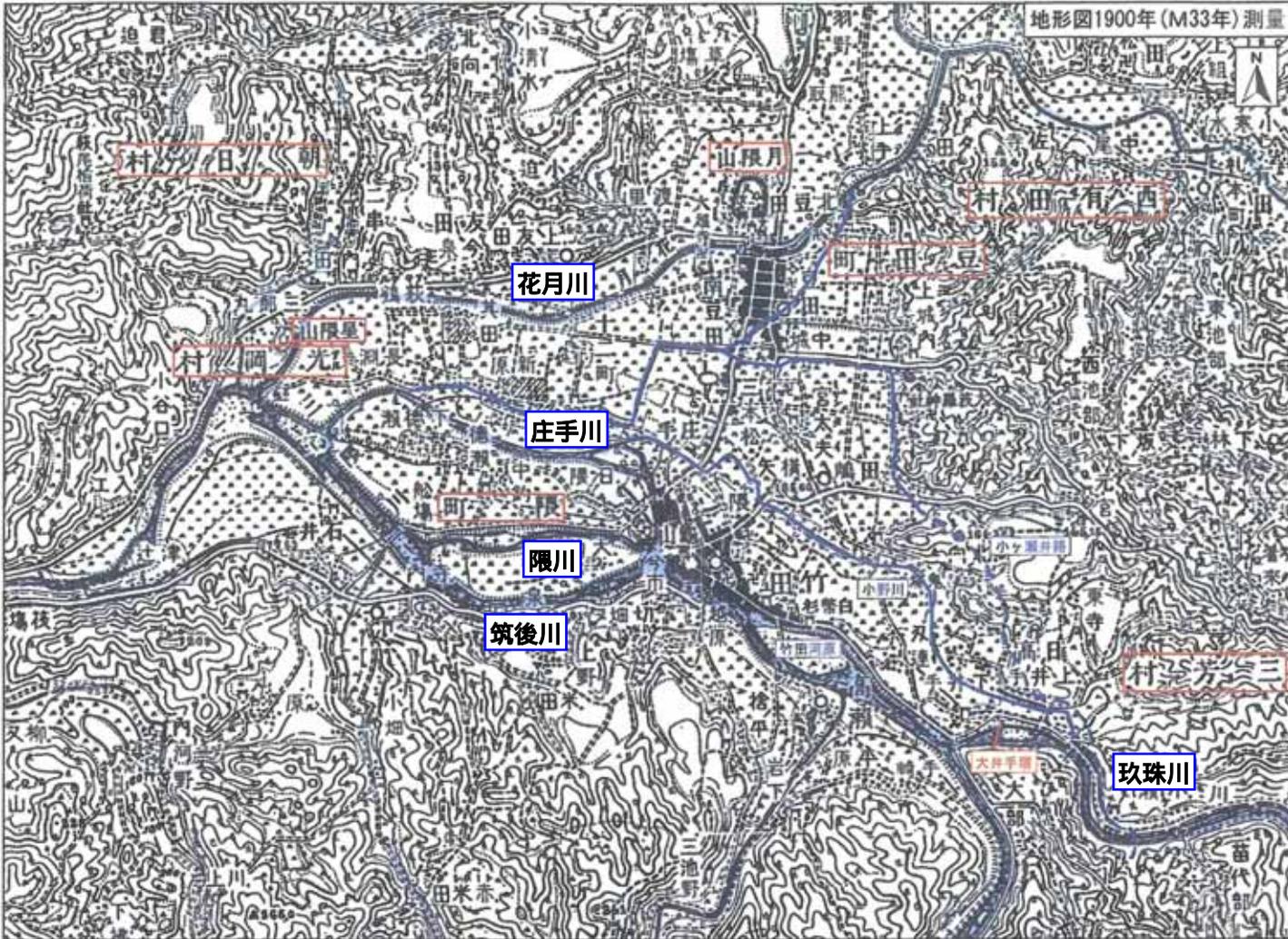
日田地区の筑後川の変遷



1803年(享和3年) 江戸時代

- ・隈川は小さく、庄手川は大きく描かれています。
- ・舟運、筏流し等住民の生活、産業の基盤として利用されていました。

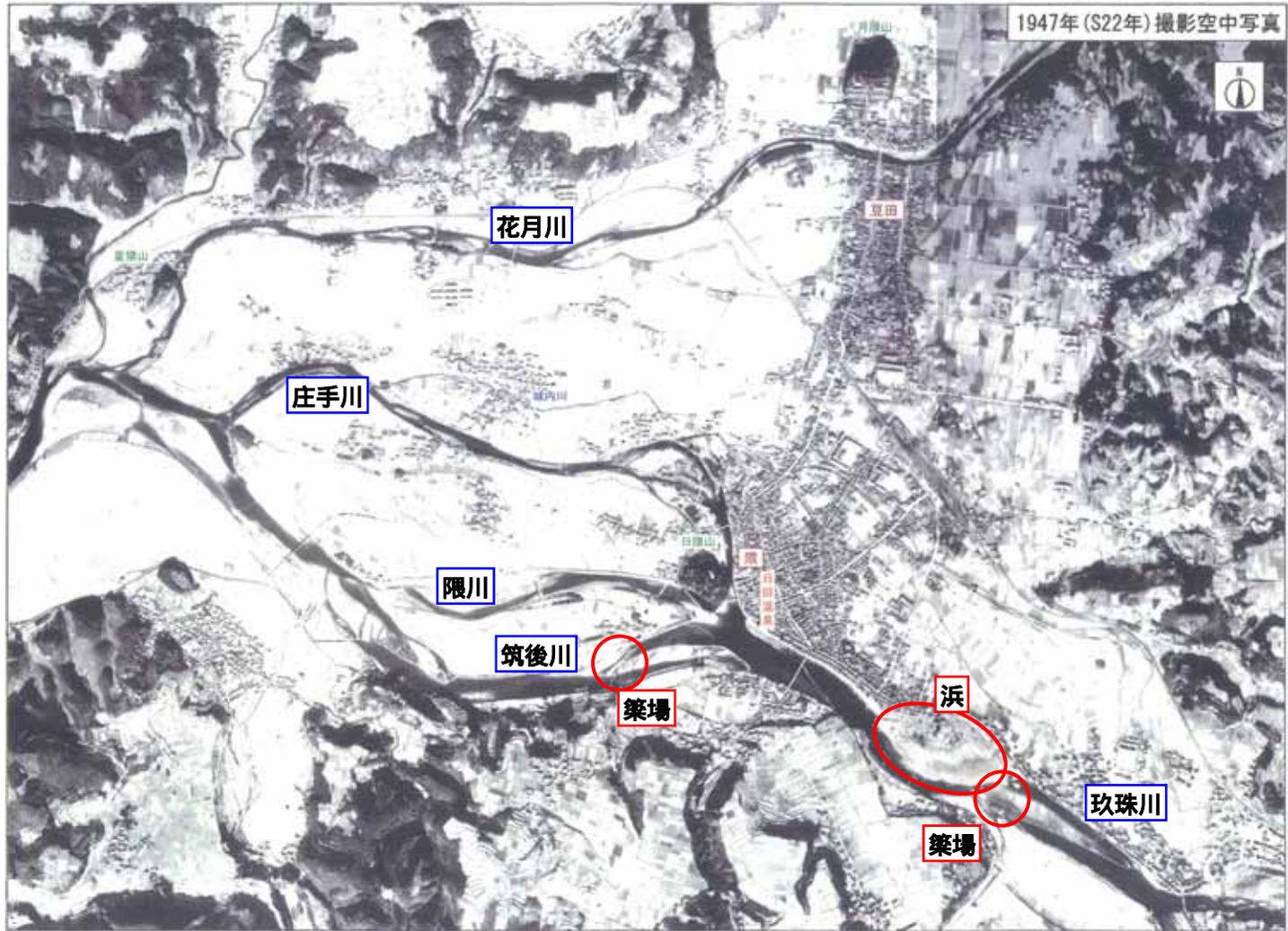
日田地区の筑後川の変遷



1900年(明治33年)

- ・隈川が現在の大きさになっています。
- ・竹田に大きな河原があります。

日田地区の筑後川の変遷



1947年(昭和22年)

- ・島内堰や三隈堰が斜め堰としてあり、築場が数箇所確認できます。
- ・現在の竹田公園前に浜が確認できます。

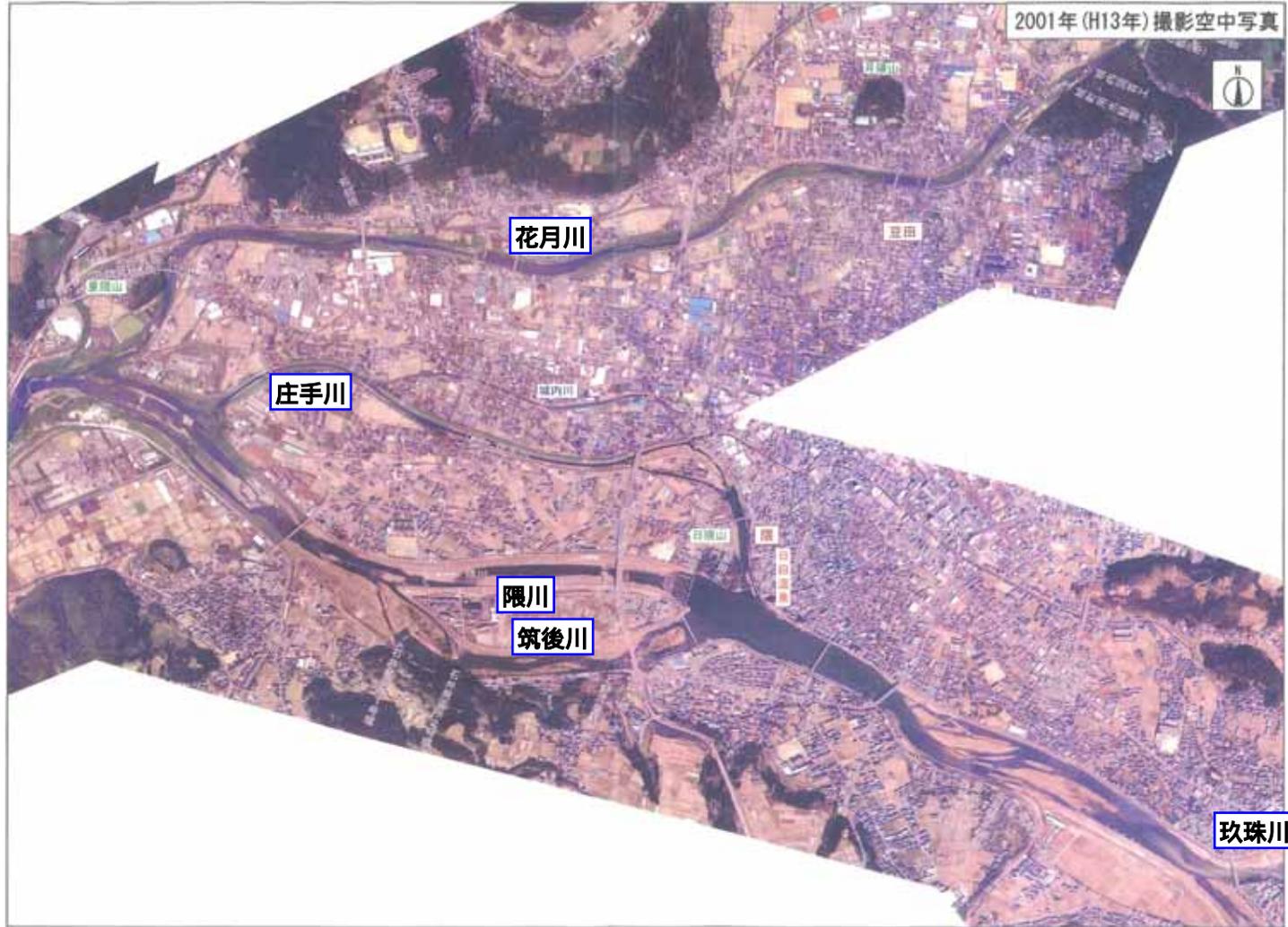
日田地区の筑後川の変遷



1965年(昭和40年)

- ・島内堰、三隈堰が現在の位置にでき、川幅が広がり隈川の流れが固定化されました。
- ・現在の川の形になってきました。

日田地区の筑後川の変遷



2001年(平成13年)

・現在の日田地区の姿です。

過去の水害の歴史



昭和28年 西日本水害(銭湊橋が流される瞬間)

過去の水害の歴史



天ヶ瀬温泉（天瀬町）



杖立温泉（小国町）

昭和57年7月洪水

過去の水害の歴史



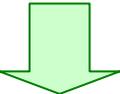
平成7年7月洪水(花月川)

日田地区の近年の河川改修の歴史

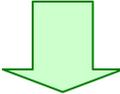
昭和28年6月 西日本水害



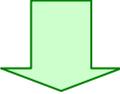
洪水からまちを守るために様々な**河川改修**を行なってきました。
(川幅の拡大、堤防の築造、島内堰、橋の架け替え等)



昔に比べて**水害**は減りましたが、昭和57年、平成2年、平成7年と大きな洪水に見舞われており、まだ安全度は十分といえません。



今後も、安全・安心な川を目指して
河川改修を進めます。



さらに、治水整備と共に、川の魅力を最大限に引き出すための
環境整備にも取り組んでいきます。

川と人との係わりの変化

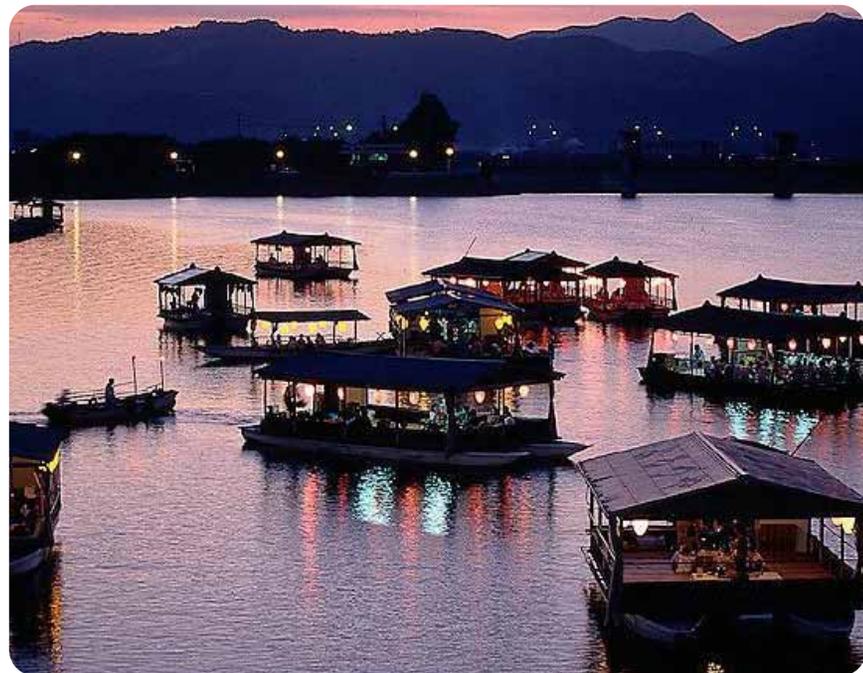
人々による川の利用形態も変わってきました。



昔(昭和39年頃) 三隈川・亀山公園付近

昔は水遊びがさかんで、
水辺に人の賑わいがありました。

変化



現在 日田の屋形船

現在は水面利用が主になっ
ています。

(屋形船、花火大会、など)

現在の川の利用状況



散歩等の利用が最も多く、**釣り**、**水遊び**や、**環境学習の場**としても利用されるようになりました。

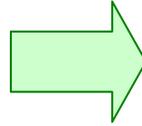
川の風景の移り変わり

産業の発達や河川改修によって日田地区の景観は変わってきました。

銭淵橋付近より下流



昭和6年ごろ

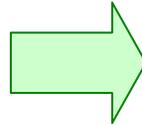


現在

三隈川公園付近より上流



昭和初期



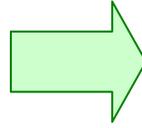
現在

川の風景の移り変わり

みどり橋付近



昭和39年

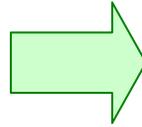


現在

花月川・城町橋付近より上流



大正時代



現在

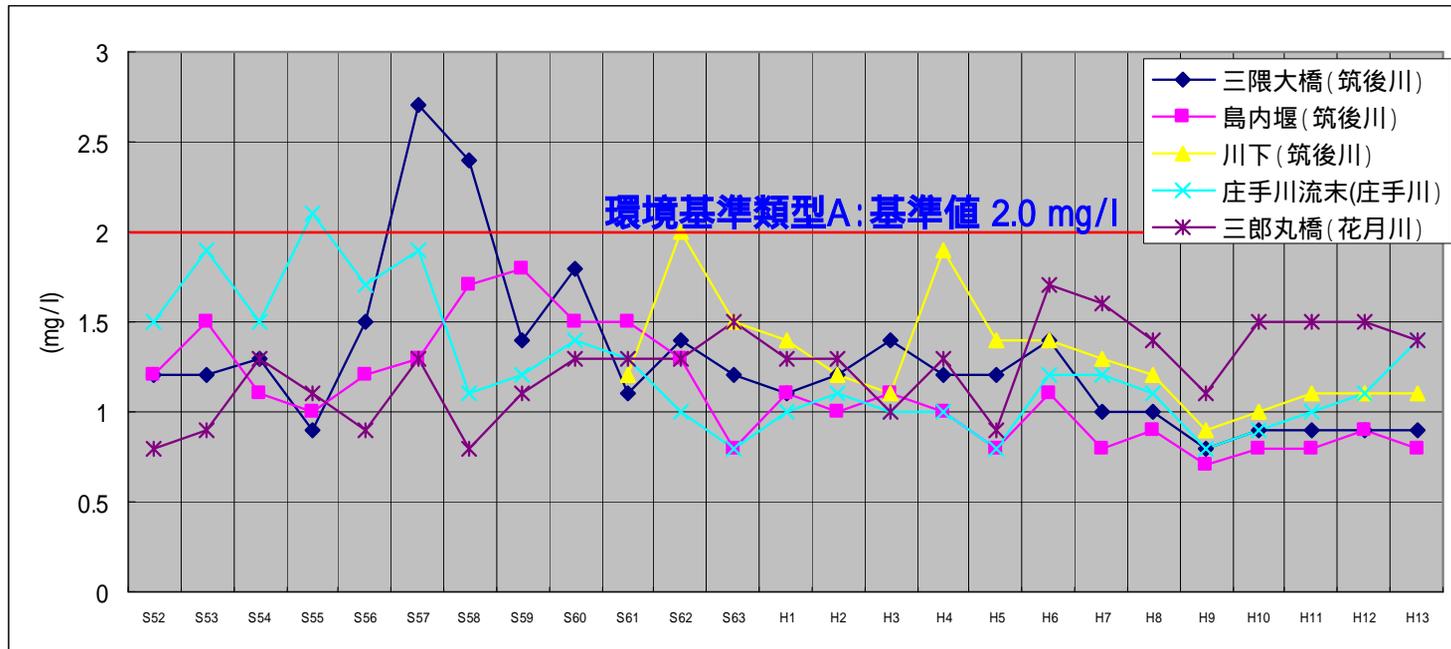
川の水質の移り変わり

水質は、昭和50年代に比べると**改善傾向**にありますが、**湛水域**に**水草の繁茂**や**泥の堆積**が見られるので、それらを**改善していく**必要があります。



オオカナダモ

河床に堆積した泥は、今年度、一部を除去します。
湛水域の水質や泥の堆積状況の調査を始めます。



水質の経年変化(S52 ~ H13 (BOD75%値))

現在の日田地区における川の姿

～ 筑後川 ～



～ 三隈川 ～



～ 隈川 ～



現在の日田地区における川の姿

～庄手川～



～花月川～



現在の、地域と川との係り

日田地区では、様々な取り組みが行なわれています。

(リバーフェスタin三隈川、川開き観光祭、千年あかり、など)



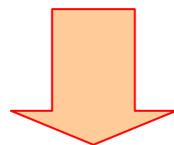
リバーフェスタin三隈川
(亀山公園付近・筑後川)



川開き観光祭
(日田温泉街・筑後川)



千年あかり
(豆田地区・花月川)



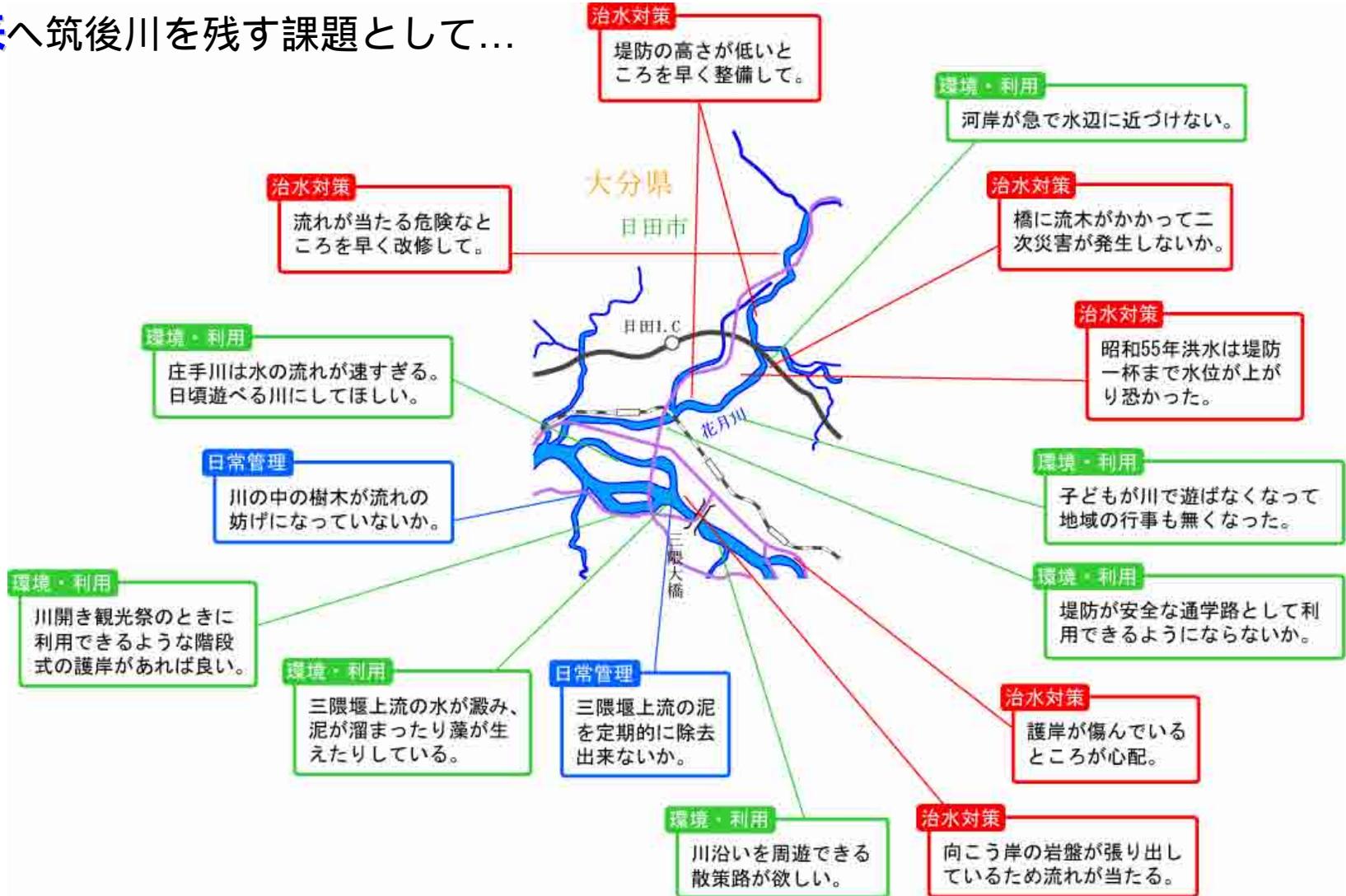
さらに川を軸としてまち・人が元気になるために、
今後、何が課題となるのかを検討していきます。

一方、未来の筑後川のための取り組み

筑後川流域一万人会議を開催し、

筑後川流域で約5,800人の方が参加されました。

未来へ筑後川を残す課題として...



未来の筑後川のための取り組み

～筑後川流域一万人会議～

《日田地区に対する主な意見》

治水対策

流れが当たる危険かところを早く改修して。
堤防の高さが低いところを早く整備して。
護岸が傷んでいるところが心配。

…など

日常管理

川の中のゴミが目立つ。
川の中の樹木が流れの妨げになっていないか。
三隈堰上流の泥を定期的に除去できないか。

…など

環境・利用

安心して泳げる場所が欲しい。
河岸が急で水辺に近づけない。
三隈堰上流の水が澱み、泥が溜まったり藻が生えたりしている。

…など

未来の筑後川のための取り組み

～ 筑後川流域一万人会議でのアンケート調査結果～

(筑後川上流部)

筑後川の良いところベスト3

1. 自然風景が良い
2. 広い空間がある
3. 魚や鳥などの生物が沢山いる

筑後川の悪いところベスト3

1. 水が汚い
2. 水量が少ない
3. 水辺に近づけない

治水対策の必要性は

1. 段階的に必要 65.3%
2. 緊急的に必要 30.7%
3. 必要は無い 4.0%

筑後川がどのように利用されれば良いかベスト3

1. 子供たちの自然体験・環境学習
2. 散歩・ジョギング・サイクリング
2. 自然観察・休息休憩

特に大切にすべきことベスト3

1. 安全な暮らし(水害対策)
2. 豊かな自然環境
3. 美しい景観

日常管理の改善点ベスト3

1. ゴミ投棄の監視強化
2. 草刈の回数を増やす
3. 利用者のマナー向上

これからの筑後川の管理は

1. 行政と住民が協力して管理 85.5%
2. 行政が管理 12.0%
3. 住民が管理 1.0%
4. その他 1.5%

日田の川とまちづくりの課題

川づくりの課題

- ・洪水や流木にも安全な川
- ・近づきやすい川、親しみやすい川
- ・湛水域の泥や水質の改善、生き物にやさしい川
- ・地域との連携協働による川づくり ……など

まちづくりの課題

- ・隈地区と豆田地区が連携した観光活動
- ・既存の観光資源を結ぶ、街路整備、モデルコースの開発
- ・まちの魅力再発見(新たな地域資源の発掘)
- ・通過型から宿泊型への移行 ……など

これらの課題について議論し

日田の川・まちの未来をつくって行きましょう。

その活動の場としての

「日田川・まち未来づくり懇談会」

第1回懇談会は・・・

日田地区における川づくり・まちづくりの課題を、地域の皆さんと再確認し、
未来へ残す**川の姿**・**まちの姿**について議論したいと思います。

そこで、

《テーマ》

川・まちへの思い

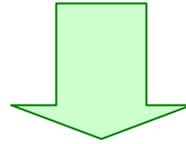
というテーマで自由な発言をお願いします。

寄せられたご意見は、今後の懇談会にて解決策を議論していきます。

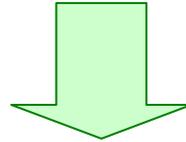
これからの進め方

日田川・まちみらいづくり懇談会は…

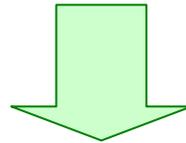
川づくりとまちづくりを連携させていく上での課題の整理



河川に対するニーズの把握



河川整備コンセプトの決定



日田の川とまちを未来へとつなぐ
『日田川・まちづくりプラン』の作成